

都市再生整備計画 事後評価シート
東部拠点地区

平成26年3月

大阪府吹田市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大阪府	市町村名	吹田市	地区名	東部拠点地区		面積	約96.5ha					
	平成21年度～25年度	事後評価実施時期	平成25年度	交付対象事業費	707.5百万円	国費率	0.4						
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業 道路(天道岸部線),地域生活基盤施設、高質空間形成施設		事業名								
			提案事業 地域創造支援事業(わんわんパトロール隊育成)										
			事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(緑のふれあいゾーン整備事業)		鉄道運輸機構が整備する貨物ターミナル駅建設工事が遅延し、緑のふれあいゾーン整備予定用地内に軌道線等が残存していたため工事着手ができず、交付期間内での完成が困難となったため		緑のふれあいゾーン1を整備することにより、緑の遊歩道利用者や天道岸部線の通行量が増加する要素の一つとして考えていたため、その影響は大きい						
			地域生活基盤施設(情報板設置)		案内板には将来整備される施設の情報表示などの機能をもつた施設としたいため、料来整備される施設が明らかになる2期計画で整備することとした		直接影響はなかった						
			提案事業	地域創造支援事業(わんわんパトロール隊育成)		わんわんパトロールとしての活動拠点となる緑のふれあいゾーンや緑の遊歩道の整備完成が交付期間内では困難なため削除		パトロール活動によるまちづくり活動への参加者増を見込んでいたことから、その影響は大きい					
	新たに追加した事業	基幹事業											
		提案事業											
	交付期間の変更		当初	平成21年度～25年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							
			変更	なし									
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度					
	指標1	緑の遊歩道利用者数	人/日	0	平成20年度	1,000	平成25年度	-	×	あり なし ○	鉄道運輸機構が整備する緑の遊歩道の完成時期に遅れが生じ、平成26年3月末となったこと、また、利用者数増加の発現要因となる緑のふれあいゾーンの整備完成が平成28年3月であることから、完成まで効果が現れない。	2期計画の事後評価時(平成30年9月)	
	指標2	天道岸部線の通行量	人/12h 台/12h	82人/12h 882台/12h	平成20年度	170人/12h 1,000台/12h	平成25年度	65人/台 724台/12h	×	あり なし ○	事業中であるため効果は発現していない(H26.6完成予定) また、通行量増加の要因の一つである緑のふれあいゾーンの整備完成まで効果が望めない	2期計画の事後評価時(平成30年9月)	
指標3	まちづくり活動への参加者数	人	20	平成20年度	200	平成25年度	15	×	あり なし ○	まちづくり活動(ボランティア)の拠点として緑のふれあいゾーン1や緑の遊歩道を想定しているため、完成まで効果が現れない。	2期計画の事後評価時(平成30年9月)		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1					
	その他の数値指標1												
その他の数値指標2													
4) 定性的な効果発現状況	緑と水につつまれた健康教育創生拠点の創出を基本として、操車場跡地から新たな都市拠点へ土地利用転換を図るため、これまで都市計画道路の整備や公園・緑地、ライフラインの整備を土地区画整理事業等により進めてきた。これらの総合的なまちづくりが評価され、独立行政法人国立循環器病研究センターが本地区にて移転建替を行うことが決定された。												
5) 実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	住民参加プロセス		市民フォーラムは東部拠点地区のまちづくりについて市民が自ら運営し、活動を行う組織として「東部拠点のまちづくり市民フォーラム」が結成され、まちの将来像などのについての協議が行われました。(平成24年4月12日までに40回開催され、延1,481名の市民が参加)				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	平成24年4月12日以降はまちづくりに関して協議事項等がないとの判断から、活動を休止。懸案であった国立循環器病研究センターの誘致決定(平成25年6月11日)後解散。 今後は、市民フォーラムとの協議事項の実現を目指して、市主催の説明会を実施しながら工事施工を進める。	
			持続的なまちづくり体制の構築				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						

